

2004年4月23日

日本ユニパックホールディンググループ

日本製紙株式会社

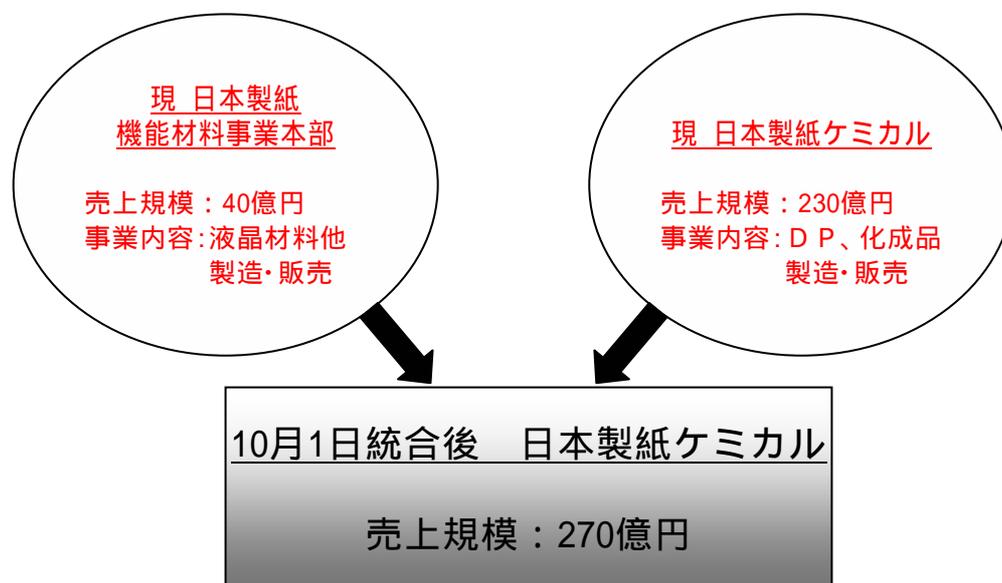
日本製紙ケミカル株式会社

機能材料事業の分社化について

日本ユニパックホールディンググループの日本製紙（社長：三好孝彦）は、平成 16 年 10 月 1 日をもって日本製紙の機能材料事業を分離し、日本製紙ケミカルに統合することを決定しました。

日本製紙の機能材料事業の主力である液晶材料事業（液晶用光学フィルム）は、最先端産業のひとつであるデジタル家電事業の伸びに合わせて、今後一層の成長が期待できる分野です。分社化により経営効率の向上と合理化を推進し、変化の激しい事業環境に迅速かつ効率的に対応できるよう、経営のスピードアップと収益力の向上を行います。

機能材料事業を統合する日本製紙ケミカルは、平成 14 年 10 月に多角化 3 部門の分社化により設立された日本製紙の 100%子会社で、D P（溶解パルプ）と化成品事業を主力としています。また、この分社化により、日本製紙はグループのコア事業である紙事業に特化することとなり、日本ユニパックホールディンググループ全体で経営資源を適正配分し、経営効率の改善を図ります。



本件に関するお問い合わせ先

日本製紙株式会社

取締役企画本部長代理 福永 行雄

電話03-3218-8036

以上